

大津弘報

昭和二十八年 二月一日発行
毎月一回発行（通巻六七号）

発行所 大津町中央公民館
印刷所 大津町中央公民館
編集人 吉良 武夫
印刷所 大津町中央公民館

大津弘報

二月号 主要記事

大津小改築問題公聴会開かる
教育施設二題

昭和三十八年消防出初式
一年間の学習が実をむすび

誕生した女子中央学級

環境緑化コンクール 全国二回連続入選

大津町建築業者協同組合設立

読書するおかあさん

青年男女の弁論大会

身体障害者職業補導生募集

母子福祉貸付資金を御存じですか

竹林（モウソウ）の改良をはかりましょう

家畜導入資金の融資

家畜に関する互助組合規約の一部改正

椎茸、平茸栽培についておしらせ

二月の国税

二月の納税は国税の第五期分です

社会福祉連絡協議会の現況

社会福祉協議会寄附

婦人会の助け合い運動に老人の喜び

慰問された方々

納骨堂建設寄附御芳名

人つくり村つくり

公民館図書利用の方へ御願い

産業青年開発隊

大津小改築問題公聴会開かる

当時於ては、昭和三十一年合併以來、文教政策の一環として、先づ近隣諸学校施設の改善新築につとめ、旧大津小を除いて一応の整備を致しました。然るに旧大津小校舎は主たる建物が既に五十一年以上を経過しており、ために、昭和三十三年米危険校舎の指定を受け、新営改築の必要に逼られて居るものであります。

教育委員会は町当局にこれが改築を要請すると共に、先ごろ大津小改築の諸問題に対する公聴会を開きました。

一、とき 一月十二日午後一時

二、ところ 大津中央公民館

一、さんかい者 町長、議長、文教委員、地元議員、教育委員、大津小校下区長、PTA

婦人会幹部、一般有志等

(当日参加者約八〇名)

勿論この催しは、委員会の計画を説明するためのもではなく、各人が考えられて居ります諸問題を自由に話し合つていただき、それら話し合いの中から一般輿論の方向を伺ひ、従つて結論を得ることが目的ではなく、多くの意見を改築時の参考とするためのものであります。自由討論の中で次のようなことが論議せられました。

一、学校位置の問題

1 現在地案

2 高校北側(陣内道東側)案

3 水源町北側台上案

(教育委員会)

教 育 施 設 二 題

三十七年度事業として真城小学校の給食室と大津中学校の特別教室は写真の通り充実に出来上りました。

真城小学校の給食室は建坪十一坪、三和建設(奥島英男氏)が三十七年十一月着工、明るい清潔な感じの給食室で子供たちも早く給食がはじまるという一と持ちわびています。

大津中学校の特別教室は元田建設が三十七年九月二十九日に着工したもので中学生の金工、木工の教室として使用するものです。これは中学校教育課程の改訂によつ

4 前田町橋の上附近案

5 銃台場附近案

いろいろと意見が分れましたが、尖々に一長一短があり、結論はまだ出ておりません。

出来得れば他に適地を求め、広大な環境で教育するよううに致したいのですが、仲々適地が見付らない現状です。

一、分散教育の問題

若し現在地に於て校舎の改築が行われれば、この問題を当然予想しなければなりません。学校当局はこの間に於ける学力の低下を憂慮致しているのですが教育委員会、学校当局、及び各家庭が協力してこの困難を克服しなければならぬと思います。

一、建築様式の問題

現在地に於て改築するとなれば、校舎敷地の関係上、成るべく北側によせて鉄筋三階建となるでしょう。又給食室、宿直室等は本屋の奥(北)側、謝堂は出来ればプールの西側、児童遊園地の一部を使用し極力校庭を広くするように考えなければならぬと思います。

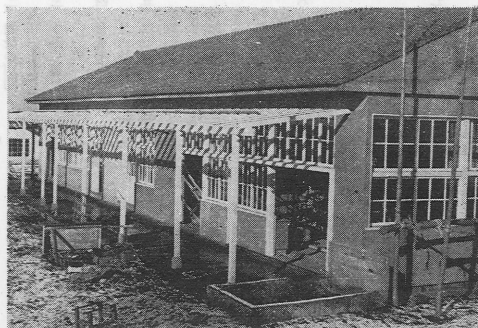
大体以上のようなことでありますが、この工事は当町としても一大事業でありますので、全予算とにらみ合せながら慎重に進めて参り度いと思ひます。校下のみならず、全町あげてこの事業の完遂に御協力下さいますようお願い申し上げます。

て、新教科として技術、家庭科が発足したが、学習する教室がなくて、普通教室を使用してきました。工具の管理や仕事などで非常に困り、また、他教科へも迷惑をかけるてきました。

技術、家庭科は他の教科と異なり、教科の内容が、製図、木材加工、金属加工、機械、電気などの分野にわたり、学習も仕事を中心であるため、仕事に必要な施設設備をそなえた教室でなくては、学習は十分できない。

そこで、技術教室の建築が永年の念願であつた。この

(写真は新築なつた特別教室)



願いがようやくかなつた。

この技術教室の完成で郡内では勿論、県内でも屈指の優秀なものとなる。

この技術教室は木工室二、一五五坪、金工室二、八七五坪、工具室材料室が一五、七五〇坪、計七六、六五〇坪で木工室では木材加工、電気(屋内配線、蛍光灯、電気アイロン、ラジオ、モーター)、製図、の学習が行われ、金工室では、製図、金属加工、機械(自転車、エ

ンジン)等の学習が行われることになつてゐる。

木工室の施設としては双物の砥ぎ場、木工機械(手押、かなな盤、自動切りかなな盤、丸のこ盤、角のみ盤)が設備できるように、三相用の電源とコンクリート床が設けてある。金工室では金属加工用の台力台、鍛造用炉などの設備をすることになつてゐる。

この教室が完成すれば技術家庭科の学習も思う存分音なたて、他の教科に迷惑をかけることなく、行うことができることとなります。(写真は真城小の給食室)



昭和三十八年消防出初式

恒例の天津町消防出初式は積雪の二月十三日約七百名の消防団員が参加のもとに、天津小学校々庭で舉行された。

定刻午前九時に高木団長の出勤人員報告に始り点検官の団員並に機械器具点検のあと同校プールの横で放水競技として、標的密射に消防ポンプ二十八台の全分団出場して、日頃の訓練を差揮、新春の空に七色の水しぶきを展開多数の観衆を湧かせた。終つて、消防庁長官を始め各種の表彰と放水競技の優勝旗及び賞品贈呈があり、消

防団の發展を誓ひ合い十二時四十分盛會裡に解散した。

記

一、消防庁長官報告

退勤団員(十五年以上 四十九名

二、県消防協会会長表彰

勲統彰 二十三名

功勞彰 二名

三、消防協会支部長表彰

優良団員 二十八名

優良分団 第二十八分団（小林、今村）
消防職員 前消防主任

四、大津町長表彰

自治送勞者 八名

優良団員 二十八名

五、消防団長表彰

感謝状 六名

◎放水競技成績

- 第一位 第十七分団（等）タイム五一秒四
第二位 第二十六分団（下中）タイム五八秒三
第三位 第二十四分団（真珠）タイム五八秒〇
第四位 第一分団（内牧）タイム五九秒四
第五位 第五分団（瀬田）タイム五九秒九

誕生した女子中央学級

大津町中央公民館は毎年夏開期を利用して町内十ヶ所に青年学級を開いて来ましたが町内の北部とか南部とか中央の若い人々の交友を深めると同時に学級の習得課程をもつと向上させるため中央学級を開いたもので開講と同時に若い人々の関心を高め毎朝の九時より夕刻まで和裁、料理、衛生、生花などの研究を続けているものであります。中央公民館では一定の課程を終了したものに修業証書を授与する制度を設けるつもりであります。

環境緑化コンクール

全国二回連続入選

大津中学校

大津中学校が昭和三十六年度三十七年度と続けて全国の学校環境緑化コンクールに入賞しました。

建設当時立木一本なかった大津中学校が十年後の今日、天下の大中として名譽を博し得たのは、町当局をはじめPTA、有志の方々の御協力によるものであります。

御承知のように校門を入ると目をみはるばかりの芝生の中に各種の木々が植込まれ、一、二〇〇坪の校地全

体が立派に緑化されています。これらの緑化は町費予算卒業生の記念樹により又PTA、一般有志、の寄贈。職員生徒の持ち寄りやさし木等によつて育成されたものであります。これらの緑化によつて、中学校各教科学習に活用されるのは勿論、生徒の情操教育面にも大変効果を上げています。

しかし未だ校舎建築中でもあり、今後の緑化計画が推進されなければなりません。皆さまの御協力をお願いいたします。

賞状

熊野若池郡大津町立大津中学校

貴校は昭和三十七年度全国本

入 学校環境緑化コンクール優秀

選 成績を収め、全国中学校部で

入選の榮譽を授けられました。

ここに本校を贈る名誉を表彰します。

昭和三十七年十月十九日

環境緑化推進委員会

委員長 清瀬一郎

（写真は表彰状）

大津町建築業者協同組合

設立

町内建築業者ではかねて組合設立の準備をすすめていたが、一月二十日の準備会で次の資金協定を行い二月一日より発足することになった。

一、資金一、〇〇〇円（一日八時間食事支給の場合九〇〇円）

二、電気ドリル、プレーナ使用一坪当一〇〇円

一年間の学習が実をむすび

近く実績発表会を行う

大津地区婦人学級

大津地区婦人会（坂本聡子会長外、一、三〇〇名）では昨年四月より文部省委嘱婦人学級の指定をうけ、大津地区婦人学級を組織、別記の通りの学習活動を一年間続けてきたが、その成果がまとも近く県内各地より関係者を招いて実績発表会を開催することになった。

この学習の成果として町内各地区に数多くのグループ組織が出来、このグループを通して家庭を明るく、町を明るくの声が高まりグループのあるところ笑顔がたえない現状までになった。

大津地区婦人学級の概要

一、開設の場所

中央学級 大津町中央公民館 一学級
地区学級 地区公民館 等 二三学級

二、開設の期間

昭和三十七年四月一日～昭和三十八年三月末日

三、学級生数

七〇〇名

四、月別学習時間数

毎月六時間 年間七十二時間

五、内容別 学習時間数

内容	時間
家庭生活に関するもの	一八時間
社会生活に関するもの	二二時間
子供の学習に関するもの	一一時間
生産・消費に関するもの	一〇時間
趣味・Rに関するもの	一〇時間
その他に関するもの	一〇時間

六、学習主題と学習事項

主題(例)明るい家庭をきずこう。

● 家庭内の人間関係、地域内の人間関係、家庭教育

(例)生活を豊かに

● 健康な生活、家計の確立

七、学習形態

グループ学習、単一学習

八、婦人学級運営の状況

…グループ学習：…日KN婦人学習（八学級）、栄盛

読書するおかあさん

教室（一）、電気教室（二）、年令別学級（三）、夫婦学級（四）、親子学級（五）、生花学級（五）
ヨークス教室（一）、読書グループ（二四）、家族計画グループ（四）
…単一学習：八地区
◎大津地区を二区に分けて、二三地区学級を開設している。中央学級は、主として地区学級のリーダーを集めて、学級運営の技術的な学習、資質の向上に、主体をおいている。

従つて、運営主体は二三の地区学級であり、それぞれ地域の特徴を生かすようにしている。

町内十八の読書グループができました

県立図書館の巡回文庫が当町に立寄るようになったからちよと一年半になります。この巡回文庫を利用するおかあさんのグループが二八もできました。この巡回文庫は一グループ一〇名～一五名で一回に一〇冊～一五冊の貸出をうけ、二ヶ月間グループ員が回読するわけですから非常に好評で毎月グループの数がふえています。

おかあさんグループにかぎらず、男子のグループでも結構です。又は職場のグループでもよいのです。公民館図書と併せて利用したいと思ひます。お中込みは公民館まで連絡いただきますと手続をしてさしあげます。

青年の弁論大会

大津町連合青年団では二十四日午前九時より大津町中央公民館で弁論大会を開きます。この日は六地区青年団から選ばれた弁士がそれらの問題を抱えて熱弁をふるうわけで大変期待されています。町内一般の方の御来場を歓迎します。なおこの日入賞した人々は今来十七日間かかる郡の大会に出場する予定であります。

身体障害者職業補導生募集

身体障害者更生指導の目的で、股体不自由者について次の通り県で募集しています。希望の方は二月十六日迄役場福祉課に申込んで下さい。

募集要綱

- 一、所在地及名称 熊本市出水町今九〇五ノ一
熊本県身体障害者更生指導所
- 一、入所資格 介護を必要としない股体不自由者で身体障害者手帖を有する者

- 一、補導科目及年限 洋服科、洋裁科、プリント科、刻印科 各二ケ年
- 一、提出書類 入所願、履歴書、戸籍抄本、健康診断書（略歴説明書添付）
- 一、処遇及費用 寄宿舎に収容し授業料無料
給食費月額二、七〇〇円（但し生活保護者無料）

母子福祉貸付資金を御存じですか



社会福祉事業の中に母子世帯に対する貸付金の制度がありますがまだ広く活用されていない向もありますので、この制度に該当する人で資金の貸付を受けようとするときは、地区担当の民生委員に相談して福祉課に申込んで下さい。

尚この法律の適用を受けるものは生活保護法により保護を受けていない母子世帯で二十才未満の児童を扶養しているもの及び父母と死別又は離別している児童が貸付の対象になります。

貸付資金の種類は次のように分類されていますが県では年度末のぬめ三月末まで支度資金以外は貸付資金の枠がないようです。三月中学又は高校卒業予定のもので就職支度金の貸付を希望される母子世帯では早目に申込んで下さい。

種類	貸付限度額	償還期限	年利率	摘要
支度資金	一五、〇〇〇円以内	五年以内	三分	就職に際し必要な費用
修学資金	高校月一、〇〇〇円々 大学月三、〇〇〇円々	二十年々	無利子	高等学校又は大学等の修学に要する費用
修業資金	月一、五〇〇円々	十年々	三分	児童の職業技能の習得に要する費用
住宅資金	一〇、〇〇〇円々	六年々	三分	住宅の補修、改築、増築等に要する費用
技能修得資金	月一、五〇〇円々	五年	三分	職業技能習得に要する費用
生活資金	月五〇〇円々	十年	三分	右期間中の生活費に充てる費用
事業開始資金	一〇、〇〇〇円々	六年	三分	事業開始に必要な費用
事業継続資金	五〇、〇〇〇円々	三年	三分	事業継続に必要な費用

竹林(モウソウ)の改良をはかりましょう

県では最近県内に農産物の加工(缶詰)工場がふえ原料物の需用が多いので販路と共に既設竹林は勿論増植による竹林の園地化推進運動を展開中であります。現在の旭県内工場の原料は主として他県産であり特に福岡県よりは相当量輸入されている状態であります。

筍の生産高は管理された成園になれば約五十六万もあるとの事です。当時においても自然竹林として相当の面

積があると思いますので、これに肥培管理をほどこし園地となし農林生産の一助とする事は容易であらうと考えられます。

竹園栽培希望者がありましたら関係技術指導者及び農業協同組合等と合議しまして講習会若しくは出荷等についても打合せ致しますので二月末まで役場経済課へ申し出て下さい。

経済課

家畜導入資金の融資により導入した家畜に関する互助組合規約の一部を改正

客年十二月二十五日、大津町家畜互助組合理事会に於いて左記の通り決定したので一般にお知らせ致します。

第三条

記
1の乳牛の出産基準百分の三を「百分の二」に改める

第五条 養畜となつた場合の「養畜の認定の中で乳牛及び和牛の不妊牛については事故による養畜とは認めないこと。」

右の規約改正は昭和三十七年十二月二十五日より施行します。

二、導入家畜の検査交付・齊調査実施します。このことについては、利子補給により導入した乳牛、和牛の現畜交付検査を各農協毎に、二月下旬実施致しますので万遺憾なきよう飼養管理等に完備を期せられるようお知らせ致します。

椎茸、平茸栽培についておしらせ

1. 椎茸原木

イ、原木の種類 くぬぎ、なら、栗椎、樺が使用されるが特にくぬぎ、ならが有利である。一般に皮の厚い原木は厚肉の椎茸が発生し寿命が長く、皮の薄い原木は発生は早い。が薄肉で寿命が短い。

ロ、樹令と太さ、原木の種類にもよるが十年一二十年位迄。太さは末口三厘から十五厘位迄、特に八厘位のもの最上とする。

ハ、伐採時期伐りが最も良いが原木の冬眠期(秋の落葉期から春の発芽前迄)に伐れば差支えない。

2. 接種(打込み)

イ、接種の時期、原木の半乾きの時が良い。即ち伐採後、枝葉のついたまま倒しておき切木口にし少しひび割れが出た頃(原木の重さが一個位減つた時)が打込の

時期であるから早目に玉切り(長さ三尺一四尺)打込にかかろ。

(註)原木が乾燥しすぎたよりも水分がある方が失敗が少ない。

ロ、接種の方法 木口から三〇厘入つた所に一ツ打込みで二から三〇厘おきに打も横に一〇厘廻つて又三〇厘おきに始める中間に打込む(千鳥型)例へば原木の末口径三寸、長さ四尺の場合の打込数は原木の末口径×原木の長さとなり十二個必要となる。

種口はなるべく多く使用した方がよい。

3. 伏込槽起し及浸水打木等是要請されましたら別に指導致します。

椎茸駒、及平茸菌を左記の通り販売致しますので希望者は期日迄申込みれる様お知らせ致します。

記

1. 申込期日 昭和三十三年三月二〇日迄
1. 申込場所 役場経済課（林務係）又は大津町森林組
合（大津地区団体事務所）

1. 価格 ①種蠶（雄茸一個） 六〇銭

- ②平茸 一袋 一六〇円

- ③打込斧（丸型の新式）四〇〇円

詳細については大津町役場経済課（林務係）へお尋ね下さい。
経済課林務係

二月の国税

- 一、申告所得税と第三期分納税

- 1期 間 二月十六日から三月十五日まで

- 一、贈与税の申告と納税

- 1期 間 二月一日から二月末日まで

- 2要申告者 贈与又は特定遺贈によつて、財産を賂得した個人

- 一、再評価税の申告と納税

- 1期 間 二月十六日から三月十五日まで

- 2要申告者 個人の土地、土木、事業の用に供して、ない家屋等を売却した者で該当する者

- 一、源泉還付の確定申告書は早目に

「確定申告をすれば納めた源泉徴収の所得税が還付になる方は早や目に確定申告書を提出して下さい。税務署では還付請求のあったものについては、みやかに還付するようにしています。なほ、詳しいことは税務署又は役場に問い合せ下さい。」

- 一、偽税務署や偽出版物販売員に御注意

申告時期になりますと、納税者の心理状態を悪用して、偽税務署員や税に関係する出版物の偽販売員等が徘徊して金品の要求等を行なうことがありますから御用心下さい。

なお、不審の者がありました際は、直ちに税務署または警察署へ御連絡下さい。

二月の納税は

国保税第五期分です

昭和三十七年度の最後の税金の保険税第五期を納める二月を迎えました。

滞納のある人も此の際五期分と同時に全部完納して下さい。

記

集合徴収日程

午前9時ヨリ～午後3時マデ

内外	牧	25日	午前
外	牧	〃	午後
子	野川	〃	午前
子	林田	〃	午後
子	林田	〃	午後
子	森	〃	午後
中	内	26日	
中	島	〃	
上	町	〃	
下	野	〃	
高	尾	〃	
平	川	〃	
岩	坂	27日	
真	木	〃	
杉	水	〃	
小	林	〃	
上	中	〃	
下	中	〃	
大	津地区	〃	

一転、新年度を迎えますよう。

については左記の日程で集合徴収を致しますので大いに御活用下さる様お願い致します。



社会福祉連絡協議会の現況

私達の町には部落単位の社会福祉連絡協議会が二十箇所に設置されて居ります。

これが母体は、本津町社会福祉協議会ですが、今迄の上意下達式の縦のつながりだけでは運営に發展を阻む幾多の問題がありますのでこれが打破のため下意上達即ち三角型の底辺の声を知つてもらうことの出来る組織の必要が認められ、又部落（小地域）に於ける社会福祉、保健等について部落住民の皆さんが取組む問題の発見と解決のため対策等をお互に相談し協議する会……これが社会福祉連絡協議会です。

町社協では昨年来これが結成と運営を極力助めた結果が右記の現況で、今後も次々に結成される気運にありま

す。それでは一体どの様な話し合がなされ取りあげられて居るでしょうか。

結論から云いますと開店して間もないので不案内、暗中模索と云つた位です。

併し小地域では老人福祉と児童福祉を重視された結果でしよう。

老人クラブ（二〇）が結成されました。

子供会 一一

地区単位の老人会は大津町老人会連絡協議会（仮称）に又子供会は大津町子供会連絡協議会（仮称）として運営上相互の連絡の必要が認められて居ります。

西鶴住宅では灯の管理と道路の砂利敷が実施されました。

先づ足許から明るくして、他に及ぼす法、これで結構です。

引水地域では秋祭で相互に往来は遠慮し氏子揃つて式典参加が申し合された。お祝ごとは鬼のお客様本位に考えられましたが家族本位に実施された。物質、精神両面の生活改善です。錦野地区では作祭を九月一日の農休日

に実施。

式典一三時——一四時

ソフトボール対抗試合（各小組チーム）

これは保健体育……主趣達の応援もあり好評でした。

外牧地区の夫婦アベック会議
岩坂、杉木地区は季節保育所が進展して保育所設置へと世論が喚起されました。

農休日が次々と設定されつゝあります。今迄の様なら

ヤムヤムヨケ日でなく完全休日が要求されて居ります。あまづ上を向いて歩かず足許を見つめて下さい。

転がって居る小さな問題が案外重要なことです。これから手懸けては如何でしょうか。

次に何故会議が活発でないでしょうか

一、会議の日数が少ない……

①これは地域住民福祉の問題発見と解決のための対策の時期を延引することになります。

②役員の熱意と関心が薄くなります。

二、地域住民は何を欲求して居るか……これが大事なことです。登台元暗の感があります。

地域と住民

こゝには子供、青年、大人、老人の問題があります。それだけの欲求があります。

又男性の立場、女性の立場から解決しなければならぬ沢山の問題が伏在して居ります。

三、会員（地区住民）が連絡協議会の存在すら知つて居ないこともあります。

これでは役員だけ駆廻つてもエネルギーの損耗が大になり効果は少なく又地区住民全体の福祉は希えないでしょう。住民全体の理解と協力がなされて目的が達成されるでしよう。

社会福祉協議会寄附

月日	住所	氏名	金額	要 摘
一、七	中学通	一木村 栄一	六、〇〇〇円	亡父資次 返しの香典
一、一〇	松古 関水保大八郎	二〇、〇〇〇		亡父亀喜 返しの香典
一、一四	不 明 B、G 二人		五〇〇	第七回目

婦人会の助け合い運動に

老人の喜び



年末は婦人会の方々が中心となって「年末たすけ合い運動」を町内全地域にかけて繰り展げました。町民みなさんの御協力によりまして現金や品物が沢山集まりました。殊に大津地区婦人会では坂本会長、橋本、大塚両副会長をはじめ金理事さんや班長さんがめざましい活動を続けられましたのでお餅や肩かけ衣類などが町中央民館に山のように持ち込まれました。

これらの品物や現金は民生委員さんを通して養老院のお年寄りの方や町内の恵まれない人々に贈りました。この婦人会の熱心な運動展開で養老院をはじめ町内の人々は「お餅もいただきました」「肩かけや衣類もいただきました」「お小遣いも頂きました」と大変な喜びでございました。紙上で厚く御礼申し上げます。なお「助け合い運動」の成果は次の通りであります。

- 一、一般募金六 四、一四四円 一八一世帯に配分
- 二、特別募金（西村ヒサ歌）、一、〇〇〇円 生活困窮者家屋補修一世帯に配分
- 三、糯米 三升四合 生活困窮者に配分
- 四、横巻（毛糸）大津地区 五五枚 養老院に配分
- 五、シャツ外 生活困窮者に配分

◎慰問された方がた

（養老院）

大津青年団（団長糸永憲裕） 太田松夫（川尻町） 大津町職工会（一同） 下俣内老人クラブ（代表江藤シヅノ） 村上豊喜（村上繁材所主） 大塚博爾（文洋堂主） 大津高校赤靈團 大津婦人会（会長坂本聡子） 大津小学校日野美知子外 菟池郡社会福祉協議会（代理山下福祉課長） 吉川栄助（本町三） 瀬田、大林、吹田婦人会（代表上村スミエ） NHK年末たすけ合い運動 今村千（中在目） 大津小第四分団子供会（代表相馬隆生） 後泊婦人会（支部長上村ケサニ） 荒木井（大津町吐） 大津小こばを会（代表中尾哲夫） 旧大津母子会（代表山辺菊） 一 敬称略

納骨堂建設寄付御芳名

一 金五千元也 田中 末藏

一 金五百円也 今村 千（中在目）
一 金貳千円也 後泊婦人会（長上村ケサニ）
一 金壹千円也 荒木 昇（吐）
一 金五千円也 旧大津町母子会（代表山辺菊）
一 金千五百円也 菊陽連合婦人会
一 金千円也 信国 角藏
（敬称略）

婦人会便り

△平川地区婦人会の宮本支部の若妻では新生活運動の一環として三十八年正月から家計簿を記入することを申合せて実動に入りました。

現角農村家庭は簿計西であり、家庭生活に於ても殆んど記録的なものはないので今後の農家はそれは駄目だというのが農業改良事務所の柄先生の指導で「もう一度自分たちの生活を見つめよう」と家計簿の記入をはじめたものでその成果はたいへん注目されています。

△真木地区婦人会では婦人学級の目標として「実生活に直結した学習しよう」という問題を設定して活潑な研修をはじめました。

先ず今日までの自分たちの家庭生活を省みて「家庭を明るくするにはどうしたらよいか」について話し合った結果、次のような努力目標をかがめました。

- 一、言葉をしていかにしよう
- 一、腹をたてぬようにしよう
- 一、今日一日をニコニコと……
- 一、自分自身で修養しよう
- 一、何事もよい方に解釈しよう
- 一、家庭内で何事も話合おう
- 一、健康に気をかけよう
- 一、子供の前で夫婦けんかはないように……
- 一、姑を真実の親と思うこと
- 一、今日の反省は明日への力

△護国地区婦人会小林地区では二月一日親と子の座談会を開きました。最近農村部落から青年男女が都会に出てゆくので残つて若い人たちと心の底から話しあつて今後の農村の発展を期しようという趣旨から開かれたもので今後はしばしばこのような会を開いて反省の一助にしようといっています。

人つくり村つくり

満二年をむかえた高尾野若葉会

ローマ字から発動機まで

若葉会それは春の若葉のようにすく／＼伸びる若葉の会です。十四名の会員が二年間智恵を出し合い、わずかな暇々に研究しあつたことがらを若葉会日誌より一二ひらいてみた。

四月一日

若葉会発足全員出席、毎月一日を例会とし会場は会員の家を廻ることになった。月五〇円の会費を徴立てることを決め、会長、書記、会計連絡係をきめた。

やりたいことがたくさんあるが次の集りに婦人、子供服の原形作りを実習することになった。

四月十五日

二才、四才、六才、八才迄の子供服の原形をみんなで作つてみた。これは会長の家に保管し必要な時会員が利用するようにした。

私たち若葉会のミニホームもつくつたらという希望でその原形も作成した次回の例会に着地を共同購入してみんなで裁断して縫うことになった。

五月一日

会員お揃いのミニホームが出来た。これで和やかさが増し、心が一つになつたような気がする。

次回は私たちの最も大切な問題である家族計画について保健婦さんの話を聞き研究するようにした。

六月十五日

農休日を利用して中牟田保健婦、矢野助産婦さんにお

七月一日

私たちは何時もおばあちゃんに子供のお守りをたのむので今日は子守役のおばあちゃんを招待することにした。献立はバラ寿司、豆の甘露サラダなど苦心してつくあげた。食事をしながら娘と姑（こんな言葉はいやだな）のお互の理解を深める。おばあちゃんの嬉しそうな顔を見てみると本当によかつたと思う。

一月十五日

夫婦ソフトボール、指導はかねて公民館にお願いしてあつたので菊岡中学の奥羽、梅田岡先生に来ていたとい

た。

「家庭に入り、母となつて、こうしてすべてを忘れてバットを振り、グロブをはめ、走るこんな楽しいことはじめてだ」

会員の一人はこんなに日記にづづっている。日頃仲のいい夫婦も今日ばかりは敵にまわして大喧い。

四月一日

ローマ字習得。商店の広告、雑誌等、横文字が全く多い。せめてローマ字くらい読めなくては子供にも教えることは出来ない。今日は分校の久保田先生にお願いしてローマ字学習をやる。婦人字級の方四名も時に参加された。活字体の大文字を全部教はる。みんな学生時

代に若返り大よこび最後に自分の名前が書けるようになった。次は千文字を覚えて。

九月十五日

内牧旅行 私達農家の縁にとつて最良の日である。仕事、育児に忙しい嫁の最大の欲望。今日はすべて忘れて楽しみたい、おむりたい（ちよつと情ないが仕方ない）ともかくこんなにして楽しみを分けあうことが出来るのは幸福なことだ。宿に寝こびながら一日の幸せをしみ／＼と味つた。

公民館図書利用の

方へお願い

中央公民館では約二、〇〇〇冊の圖書を備え毎日貸出しを行つていますが最近利用者が増し月約三〇〇冊程度の貸出しになりました。非常に嬉しいことですが反面期日までの返本が少く次の利用者に迷惑をかけるようになりますので、返本は必ず期日までにお願ひします。
貸出は一人二冊以内一週間です。
連時新本の購入を行つていますが御希望の圖書がありましたらお知らせ下さい。

一月十八日

動力エンジン説明講習会。若菜会、婦人学級生、青年と広く呼びかけて発動機を前にして名称、取扱ひ方調節等四時間に余り講義と実習、最後に自分の手で実際に起してみた、夫のいない時又な手で農業をやつてゐる方にとつて早速役に立つ、自信がついて来た。

二月一日

物価が上がる。財布がきしむ。会員間にこんな声が多くなつた。四、五年前からこんなことになることはわかつていたが今からでも遅くはない。今夜は公民館から来ていたどいて財布の問題について話合つた。何故だろう何故だろうと、つきこんだ話合ひをしている中に計画

経済（予算生活）でなければいけないという結論に達した。農家だから出来ないでは何時までたつても私達は浮れない、早速家計簿をつけることになつた。指導は生活改善普及員の先生にお願いすることになり代表が近くお願いに行くことになつた。

産業青年開発隊の

開隊式を挙行

大津町の北方台地（松古賀の北方）に予定されてゐた県の産業青年開発隊は諸般の準備がすゝみ第一回の入隊者の試験も終了したので一月七日午前十時より同所において開隊式が挙行されました。

この日、朝来の吹雪にもかかわらず県庁から多数の係官をはじめ農事務所より所長以下、地元より坂本町長、西本議長、江藤県議員等多数が出席、挨拶や祝辭、入隊生代表の宣誓などがあつた。

開発隊の所在地は風光明媚、東方はるかに阿蘇の五岳をながめ、若人たちの技術の練磨にはふさわしい場所だと参加者の好評を博してゐました。

今回入隊した第一期生は二十五名で県下から集つた若人たちが五人に一人のはげしい競争率を突破して来ただけあつて何れ劣らぬ優秀者ぞろい。入隊日のその夜から隊に泊りこみで規則正しい生活に入つたが昼間は土木工事や道路工事に汗を流し、夜間に電灯の下で学業を叩き込まれ大変なはり切り方です。今度の第一期生だけが六ヶ月の修業で契社会に飛び立つことになってゐますが次の第二期生から修業年限は一年となつてゐます。

